

埼玉県文化財保存活用地域計画シンポジウム

地域主体の「文化財保護」を

考える

2026年 12月1日 (火) 13:30~16:30
(13:10受付開始)

近年、文化財を活用しながら着実に保存していこうという機運が高まっており、県内市町村でも、文化財の保存と活用に関する総合的な計画『文化財保存活用地域計画』の作成が進められています。本計画の制度設計に携わった村上裕道氏と文化財保護政策の専門家である森屋雅幸氏をお迎えし、文化財保護の現状と今後を考えるシンポジウムを開催いたします。

① 基調講演

01 地域主体の文化財保護への転換とその実践

村上裕道 氏

〔元文化庁研究官／(一社)創造遺産機構 理事〕



村上裕道氏

兵庫県出身。専門は文化財保護政策。(財)文化財建造物保存技術協会、兵庫県教育委員会を経て、平成29年から文化庁地域文化創生本部にて文化財保存活用地域計画制度創設に携わる。阪神淡路大震災を契機に創設されたヘリテージマネージャー制度の立案者としても知られる。



©2014栃木市とち介

02 地域文化財の保存・活用とコミュニティー山梨県都留市の旧尾県学校を事例としてー

森屋雅幸 氏

〔法政大学キャリアデザイン学部 准教授〕

旧尾県学校
(都留市教育委員会提供)

山梨県出身。山梨県都留市・東京都江戸川区にて文化財保護に携わると共に、地域コミュニティによる文化財の保存・活用についての研究を行う。現在は法政大学キャリアデザイン学部で教鞭をとる。専門は文化財保護政策、社会デザイン、博物館学。

REBIRTH!
富士講プロジェクト
マスコットキャラクター
みろくくん

作画:吉田葉子

② 事例報告

- ・ 杉山和徳 氏〔埼玉県白岡市生涯学習課〕
- ・ 木村成一 氏〔栃木県栃木市蔵の街課〕
- ・ 澤柳幸司 氏〔山梨県富士吉田市歴史文化課〕

③ パネルディスカッション

登壇者による討論
テーマ(予定)

- ・ 指定及び未指定の歴史的建造物の保存と活用
- ・ 地域住民主体の文化財保護
- ・ 文化財を通じた地域と来訪者との関わり

会 場

埼玉会館2階ラウンジ(中会議室)
〔埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目1-4〕

申込方法

電話又はメールにて、
「埼玉県文化財・博物館課 指定文化財担当」へ申込
(メールの場合は、代表者の電話番号、参加者全員の氏名と在住市町村を明記のこと)

【申込先】下記の「申込・問い合わせ」を参照のこと

※先着順となります

アクセス

JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分

※駐車場(有料)は台数に限りがございますので、
なるべく公共交通機関をご利用ください。なしりん・なしべえ
白岡市マスコットキャラクター